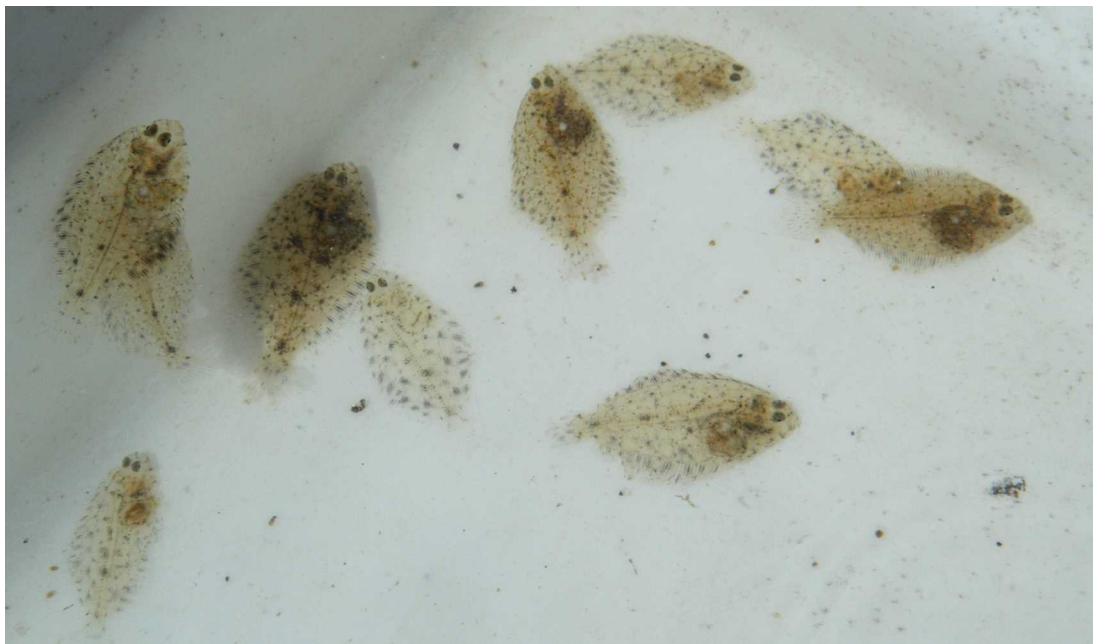


多くのイシガレイ

■多数のイシガレイの接岸

先月の調査で採集したイシガレイ稚魚は1個体のみであったが、今回の調査では27匹と多くの個体を採集することができた (Fig.1・2)。春が近づき、順調に沖から移動していると考えられる。大きさは平均全長1.8cmである。先月採集した1個体、全長2cmと大きな差はない。2月から3月にかけて新たに接岸した個体なのであろう。

なお、潟湖内で1匹だけがイシガレイを採集することが出来た。



(Fig.1 採集したイシガレイ)



(Fig.2 採集したイシガレイ 最大と最小の個体)

イシガレイの全長	1.5cm	2.0cm	2.5cm
イシガレイの個体数	11	14 潟湖内で採集した1匹を含む	2

(Table.1 イシガレイの全長と個体数)

■工事の進捗

蒲生干潟では、現在防潮堤の工事が進められている。Fig.3は導流堤を潟湖側から撮影したものである。先月まで導流堤の一部を低くして通水部としていたが、埋められてパイプが通してある。震災前は水門が設置され (レポートNo.34参照) 潟湖内との水の出入りが行われていた。現状のパイプは仮のものであると思われるが、今後設置されるであろう通水の仕組みによっては、潟湖内の環境に大きな影響を与えることが懸念される。



(Fig.3 工事中の導流堤)